

特集

# 子どもたちを ネット犯罪・ 被害から守る！

いつでもどこでも、欲しい情報を簡単に手にすることができる携帯電話やスマートフォン、タブレット。操作も簡単。子どもはすぐ使いこなします。でも、安易に使ってしまうとネット犯罪・被害に巻き込まれてしまう恐れもあります。

今月は『便利さの裏側に潜む**危険**から**子どもを守る方法**』

について考えてみましょう



## ま〜がれつと通信<sup>4</sup>

三豊市を マーガレットでいっぱいしよう

マーガレットの花名は、その美しい白い花にちなみ、真珠という意味のギリシャ語「マルガリーテス」が語源。そのマーガレットの花言葉に「恋占い」があります。これは花びらを1枚ずつ取りながら「好き、嫌い、好き…」と心に秘めた相手の気持ちを占う、恋占いの花として使われたことになみます。



そこで、マーガレットの栽培をしている農家の人に「花びらの枚数」について質問したところ、「花びらの枚数に一定の数は無い」との答え。出荷する花の場合は18枚〜21枚が多いそうです。ちなみに市役所で育てているマーガレットの花びらを数えたところ13枚〜16枚という結果に…。

そう、数が違うから占いに使われるんですね。うん納得。



三豊市の人口 ※平成27年6月1日現在 ( )内は前月比

世帯数 23,360 世帯(+56) 総人口 65,695 人(+26) 男 31,270 人(+1) 女 34,425 人(+25) ※香川県人口移動調査による

広報 **みとよ** 7月号 目次  
平成27年 contents

- 3 特集 子どもたちをネット犯罪・被害から守る！
- 10 eM's Information みとよくらしのおしらせ①  
市職員募集 / 臨時給付金 / 公共施設再配置実行計画 / 介護保険制度が変わります / 国民健康保険・介護保険・後期高齢者医療保険のお知らせ
- 16 みとよHOT ほつとNEWS(ホットニュース)
- 18 eM's Information みとよくらしのおしらせ②  
成人式スタッフ募集 / 第27回健康教育講演会 / 紙類・布類の持込回収 / 農業委員会の組織・制度改革 / 水道事業広域化協議 / 瀬戸グリーンセンター更新工事完成 / 後期高齢者医療被保険者の皆さんへ / B&G海洋センター / 国民年金 / 健康診査・がん検診 / 土砂災害基礎調査結果 / 市文庫館夏期企画展
- 24 eM's 深読みひろば  
じんけん探訪
- 25 夏レジャー inみとよ
- 26 7月のお知らせ  
募集 / 相談 / 講座 / 教室 / イベント / 納税のお知らせ / マリンウェブ情報 / 国際交流協会
- 29 保健・相談
- 30 ここ笑み通信 ~子育てするなら三豊が一番！~  
提案型補助金、産休・育休取得促進支援補助金 / 児童相談ダイヤル / ウィズの会 / eM's Smile ふおとぎやらしい / 乳幼児健診 など
- 32 みとよ写真帳 / 編集後記

## 表紙 今月の市民力



「第4回三豊発!!さぬき軽トラ市」が、5月31日、高瀬町農村環境改善センター前で開催されました。軽トラ市は、荷台の高さが商品の陳列にちょうど良く、車で乗り付けて撤収も簡単というところで、昨今では全国各地で開催されています。作り手と会話をしながら買い物をする対面販売も好評で、安全で新鮮な野菜・果物を手に入れようと、早朝にもかかわらずいつも大勢の人でにぎわいます。「この軽トラ市は、まずは三豊の農業が元気になるって地域全体の活性化につながって欲しいという思いから、農家が協力して立ち上げました。今後は、地元の商店や企業とも連携していきたいですね!」と、意気込むのは軽トラ市実行委員会メンバーの白井悠貴さん。

三豊市出身でうどんシンガーとして活躍中の石居直さんが、軽トラ市のPR大使を務めます。その石居さんのご縁で、今回、愛媛県西予市の「のむら軽トラ市」とのコラボが実現。大いに盛り上がり、1日となりました。

次々と新しい試みに挑戦する「三豊発!!さぬき軽トラ市」。今後も目が離せません!

市内の現状

高度情報化の一方で  
新たな問題も

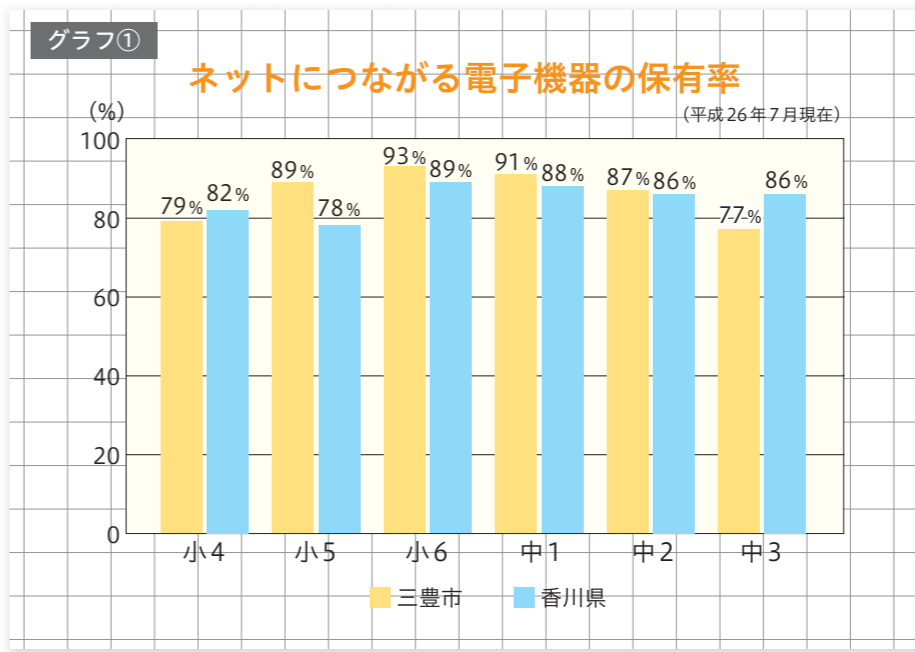
インターネット（以下、ネット）は、社会、文化、経済活動などあらゆる活動の基盤として利用され、将来必ず使いこなさなければならぬ道具として、学校教育にも取り入れられています。また、近年ではスマートフォン（以下、スマホ）などの多機能携帯電話が急速に普及し、動画配信サービスやオンラインゲーム、コミュニティサイトへのアクセスがより簡単に行えるようになりました。

しかし、大きなメリットがある一方で、不適切な表現や画像など青少年の健全な成長に悪い影響を与える情報に触れる機会も多くなります。また、誤った使い方をしていじめなどの加害者にも被害者にもなりうる危うさがあります。

県を上回る高い保有率

昨年7月、県教育委員会が県内の小・中・高校生を対象に実施した「携帯電話・スマートフォンなどの利用に関する調査」による

と、スマホや携帯ゲーム機などのネットにつながる電子機器を保有している割合は、小学生でも8割を超えていることが分かりました（グラフ①参照）。これを見ると、市内の小

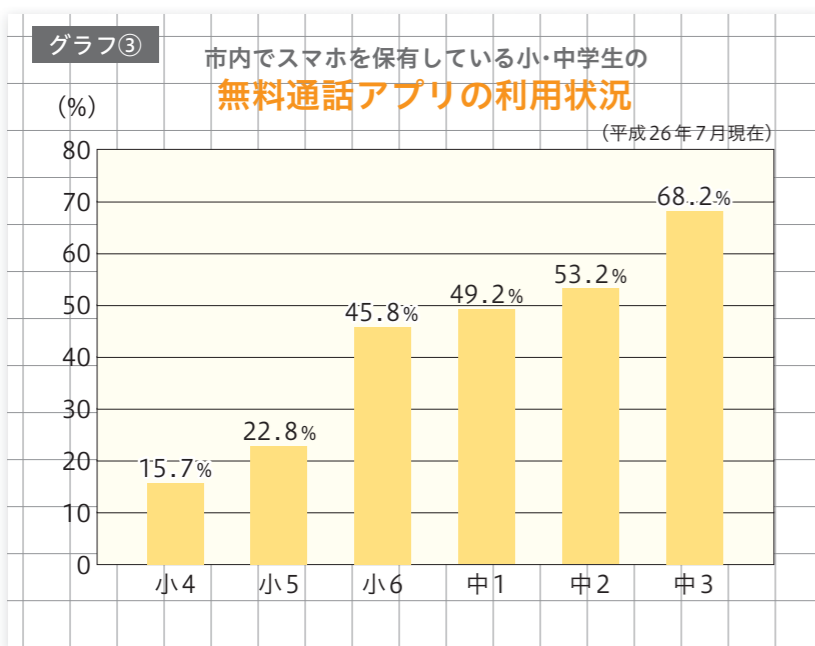


中学生の半数以上が  
無料通話アプリを使用

悪い影響を与える有害情報に触れる危険性も高まります。

従来のメールや通話とは全く異なる新しいコミュニケーション手段として、LINEなどの「無料通話アプリ」があります。市内で

スマホを保有している小・中学生のうち、無料通話アプリを使用している割合はグラフ③のとおりです。これを見ると、利用の割合は小学6年生から急激に増加し、中学生になると半数以上が無料通話アプリを使用したことがありと答えています。また、無料通話アプリで



よくやりとりをする相手については次のとおりです。

- 【小学生】
  - 1位 同じ学校の友だち 60%
  - 2位 家族 44%
  - 3位 他の学校の友だち 19%
- 【中学生】
  - 1位 同じ学校の友だち 73%
  - 2位 家族 48%
  - 3位 他の学校の友だち 32%

求められる  
保護者のチカラ

小・中学生が犯罪に  
巻き込まれる危険性も

これまでの調査結果から、市内の小・中学生も無料通話アプリを利用してコミュニ

ニケーションをとっていることが分かりました。そこで懸念されるのは、子どもたちが、ネットが引き起こすさまざまな犯罪に巻き

込まれてしまうことです。

三豊警察署生活安全課の山地課長に、「青少年が巻き込まれるネットのトラブル“についてお聞きしました。」

「全国では、スマホ、携帯ゲーム

全国での被害事例

ゲーム機でも被害に！

女子小学生は、ネット接続が可能な携帯ゲーム機のゲーム内で女子高生になりました男と知り合った。女子小学生は、男が自分の画像と偽り女性の裸の画像を送信し、画像の交換を要求してきたために、断り切れず、自分の裸を撮影し、画像を送信させられた。

相手を簡単に信用してはいけません！画像は一度流出すると回収は困難で、子どもを一生苦しめることになります。

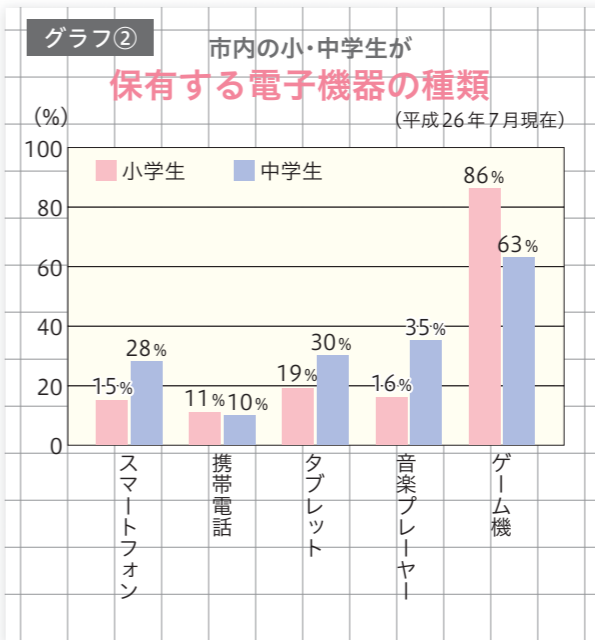
いじめはネット内でも…

男子中学生らは、日頃からいじめている同級生を無理やり無料通話アプリのグループに誘い入れ、同アプリ内でいじめを継続し、さらに脅すなどして、約20回にわたって合計約10万円を恐喝した。

アプリなどの閉鎖的なグループで起こるいじめは、周囲の人も気づかないまま、昼夜を問わず続きます。



小・中学生ともゲーム機を保有している割合が高いことが分かりますが、中学生になると、スマホやタブレット、音楽プレーヤーなどを保有する割合も高くなっています。手軽にネットにつながる電子機器が普及することで、健全な成長に



次に、市内の小・中学生が保有する電子機器の種類を割合で表したものが次のグラフ②です。



前市 PTA 連絡協議会 会長  
岩倉秀人さん

「子どもたちは親から与えられた道具に、何の抵抗もなく触ります。このため、ネットの危険性を十分認識しないまま、楽しいという理由でネットの世界へと入っていきトラブルに巻き込まれてしまいます。保護者は、自らがネットの危険性を十分認識し、正しい知識と適切な使い方を子どもたちに教えてください」

現代社会では、スマホなどの情報機器の使用は避けられません。機器そのものを取り上げたり、アプリを使えないようにする以前に、まずは安全に安心して使えるよう保護者が正しい知識

**みんなで取り組もう  
”家庭のルール作り”  
大切なのは  
家族で話し合うこと**

昨年11月、市PTAや子ども会の代表などで構成する「スマートフォン使用について考える会」が発足しました。

この会では、子どもたちをよりよい生活環境の中で育みたいという保護者共通の願いを実現するため、スマートフォンを使用する上での「ルール」と「ルール達成のための具体的な取組」を作り、保護者へ呼びかけています。

同会の発足当時の構成員で、市PTA連絡協議会の会長をしていた岩倉秀人さんにお伺いしました。

「スマートフォン使用に

機など、ネット接続が可能な機器を児童が利用して、犯罪やトラブルに巻き込まれるケースが後をたちません。また、県内でも、携帯電話などをきっかけとしたトラブルや犯罪に小・中学生が巻き込まれる事件が発生しています」

「子どもたちは親から与えられた道具に、何の抵抗もなく触ります。このため、ネットの危険性を十分認識しないまま、楽しいという理由でネットの世界へと入っていきトラブルに巻き込まれてしまいます。保護者は、自らがネットの危険性を十分認識し、正しい知識と適切な使い方を子どもたちに教えてください」

現代社会では、スマホなどの情報機器の使用は避けられません。機器そのものを取り上げたり、アプリを使えないようにする以前に、まずは安全に安心して使えるよう保護者が正しい知識

を持たなければなりません。  
**子どもを守る  
”フィルタリング”**

「コミュニティサイトなどで起こる子どもの犯罪被害の大半は、フィルタリングの設定をしていない携帯電話からサイトに接続しているという実態があります。フィルタリングとは、18歳未満の子どもが、出会い系やアダルトサイト、暴力的な表現のあるサイトなどへアクセスできないよう通信に制限をかける機能のことです。

県警では、関係機関と連携を図り、携帯電話事業者などに対する啓発活動を中心とした取り組みを行い、保護者にフィルタリングの設定を呼びかけています。

一方、携帯ゲーム機の場合は、保護者による利用制限（ペアレンタルコントロール）の設定をしていない場合が多いので、今一度確認をしてほしいと思います。また、設定する際の暗証番号も、子どもに解除されないよう注意が必要です。

子どもたちが保護者に無断でスマホを使用し、ワンクリック詐欺に引っかかって高額請求されるケースがあります。日頃から子どもと話し合う機会をつくるよう心がけましょう。もし子どもの様子がいつもと変わっていたり、高額請求が発覚したりしたときは、速やかに三豊警察署に相談しましょう。

三豊警察署 ☎72・0110

**必ず守って！**

- ① 悪口を書かない
- ② プロフィールなどの個人情報を書かない
- ③ ID、パスワードは人に教えない  
(友だちでもダメ)
- ④ 他人の機器を勝手に使わない

もし被害にあっても  
しまったら…

子どもたちが保護者に無断でスマホを使用し、ワンクリック詐欺に引っかかって高額請求されるケースがあります。日頃から子どもと話し合う機会をつくるよう心がけましょう。もし子どもの様子がいつもと変わっていたり、高額請求が発覚したりしたときは、速やかに三豊警察署に相談しましょう。

三豊警察署 ☎72・0110

～子どもたちをよりよい生活環境の中で育むために～

**携帯電話・スマートフォンなどの使い方のルール**

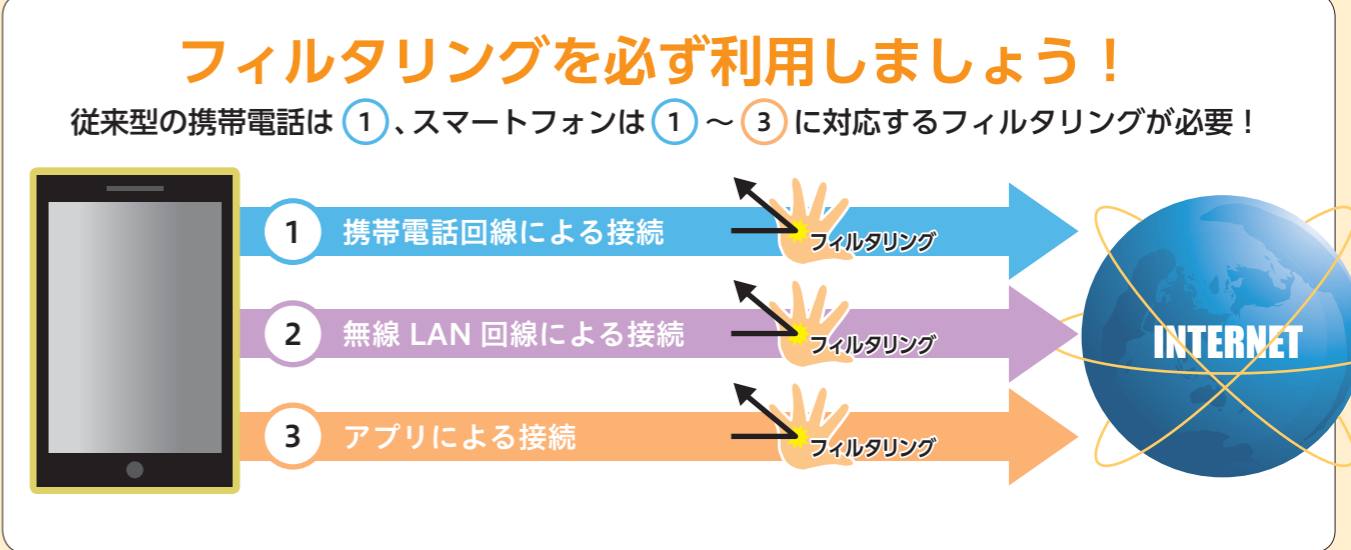
- ① 保護者は必要のない限り、子どもに携帯・スマホなどは持たせない。
- ② 保護者は携帯・スマホなどを持たせる場合、フィルタリング機能を付ける。
- ③ 保護者は午後9時以降、子どもの携帯・スマホ・ゲーム機などを預かる。
- ④ 保護者と学校は連携して、携帯・スマホなどについて話し合う機会を設ける。

**ルール達成のための具体的な取組**

- ① 保護者は、携帯電話やスマートフォンなどの必要な知識を身に付けるように努めましょう。
- ② 保護者は、携帯電話やスマートフォンなどの使い方を子どもと話し合い、使用ルールを作り、それが守られているかどうかを把握するよう努めましょう。
- ③ 保護者は、学校と連携し、PTA総会や学級PTAなどを活用して携帯電話やスマートフォンなどについて話し合う機会を設け、現状の把握に努めましょう。



携帯電話会社では、購入された端末を誰が使用するかという「利用者情報登録」を行っています。未成年者が使用する場合は、フィルタリングの設定を推奨しています。また下図のように、携帯電話回線による接続のフィルタリングのほか、無線LAN回線による接続とアプリによる接続の場合では、それぞれでフィルタリングを設定する必要があります。詳しくは携帯電話各社または販売店にお問い合わせください。





# 家族の約束

夏休みに入る前に家族でしっかりと話し合って、ケータイ・スマホを安全に安心して使えるようにしましょう。



## 使用時間

ケータイ・スマホの使用は、夜 \_\_\_\_\_ 時までにはします。  
 ケータイ・スマホの使用は、1日 \_\_\_\_\_ 時間以内にします。



## 使用内容

人が嫌な気持ちになるようなことや悪口は、書き込みません。  
 ケータイ・スマホは、 \_\_\_\_\_ で使用します。  
(リビングなどの使用場所を限定)

## 保管場所

使い終わったケータイ・スマホは \_\_\_\_\_ へ置きます。

## 我が家の特別ルール

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## 約束を守れなかったときは

使用禁止 \_\_\_\_\_ 日間！！

宣言した日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

子どものサイン \_\_\_\_\_ 子どものサイン \_\_\_\_\_

保護者のサイン \_\_\_\_\_

## 話し合いのポイント

- ・困ったらすぐ保護者に相談するよう伝えましょう。
- ・約束を守れなかったときは、一方的に取り上げるのではなく、一度使用の仕方を見直し、納得のいく約束を親子で考えましょう。

## 保護者の声

### まずは家庭のルール作りから

小学6年生の娘は、主に iPod touch の LINE アプリを使って、家族や友だちと連絡を取り合っています。フィルタリングの設定はしていませんが、家庭でのルールを

- ①使用は夜9時までにする
- ②悪口を書きこまない
- ③アプリ導入は親の許可を得ること

と決めています。子どもには「ルールを守らなければ周囲の人に迷惑をかけることになる。守れないようならスマホ禁止令が出ることになる。そうなると結果的には自分の身に跳ね返ってくるんだよ」ということを説明しました。今は、子どもも理解を示し、ルールを守ろうと努力していますが、それでも夜9時すぎまで使用することがあったり、きちんと守れていなかったりする部分もあります。しかし、そこで厳しく叱るのではなく、子どもの自主性も尊重して見守ってあげることも大切だと思います。まずは家族でよく話し合い、家庭のルール作りから始めるといいですね。



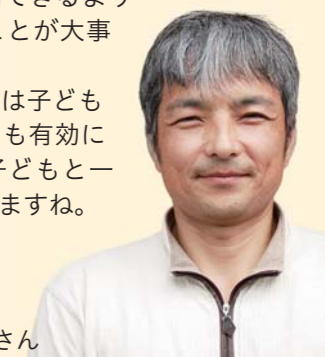
吉津小学校  
PTA 会長 新延芳申さん

### リスクを認識して有効活用を

高校1年生の息子はスマホを使用し、中学1年生の娘は携帯ゲーム機を所有しています。息子のスマホは、高校入学と同時に購入しました。子どもには事前にスマホを使用する上での条件と注意点を話し、購入のため訪れた販売店では、フィルタリングの説明を受け、年齢と利用目的に応じたフィルタリング設定をしました。

急速に情報化が進む現代において、スマホは利便性に優れたツールで、私たちの暮らしに浸透してきています。ただ一方で、使用方法を誤ると周囲に与える影響は計り知れません。保護者も子どももそのリスクをしっかりと認識し、安全に利用できるよう環境を整えていくことが大事だと思います。

新しい技術の習得は子どもの得意分野。私たちも有効に活用できるよう、子どもと一緒に学ぶ必要がありますね。



三豊中学校  
PTA 会長 相良昌利さん

防犯のために持たせたはずの携帯電話・スマートフォン。その普及とともに、子どもたちを被害者にも加害者にもさせないための緊急の対応・対策が今、まさに求められています。

★人が傷つく書き込みはダメ  
 ★個人情報を書き込みや写真などの送信は危険  
 日記感覚でつぶやくツイッタ。書き込んだことは世界中に広がり、不特定多数の人に見られてしまいます。「しまった」と悔やみ、情報を消したいと思っても、一度流出した写真や個人情報を取り戻すことは、ほぼ不可能です。

もうすぐ夏休み  
 夏休みは、家庭での生活が中心となります。スマートフォンなどを介しての交友関係も広がるのではないのでしょうか。心身共に健やかに過ごせるよう、今一度、家族で話し合っ、「我が家のルール」を作るなど、適切な使い方ができるようにしましょう。

